

授業概要

社会学Ⅱでは、現代社会を彩るさまざまな文化的事象がいかに社会と関わり、社会を構成しているのか講義する。

視聴覚資料に触れながら、音楽、映像、観光などの身近なテーマについて社会的に考える。

この講義は社会学Ⅰの応用編として設けられているが、必ずしも社会学Ⅰを履修していなくても構わない。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：さまざまな文化と社会学
第 2 回	音楽（1）現代社会と音楽
第 3 回	音楽（2）音楽との接し方
第 4 回	広告（1）関連映画鑑賞
第 5 回	広告（2）広告と消費社会
第 6 回	都市（1）関連映画鑑賞
第 7 回	都市（2）テクノロジーと都市
第 8 回	アニメと社会
第 9 回	映像と社会
第 10 回	宗教と社会
第 11 回	観光と社会
第 12 回	労働・余暇と社会
第 13 回	ファッション（1）流行
第 14 回	ファッション（2）アイデンティティ
第 15 回	まとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

現代の文化をめぐる諸事象・諸問題について、社会との関係から考え、意見を述べることができる。

現代社会の仕組みについて、基礎的な知識を修得する。

履修上の注意

講義時にコメントシートを配布し、授業の感想や自らの考え、疑問点等を書く時間を設けることがある。

予習・復習

生活のなかで、「当然だ」「こうあるべき」「仕方ない」と感じる出来事に遭遇したとき、なぜそうなのか、本当にそうなのか、考えておいてほしい。

講義内で示した参考文献や作品に目を通し、自主的な学習を行うこと。

講義内で課題を出す場合があるので締め切りまでに取り組んでくること。

評価方法

筆記試験（60%）

コメントシートおよび授業への参加姿勢（40%）

テキスト

テキストは指定しない。必要に応じてプリント配布やスライド投影を行う。

授業概要

社会は、さまざまな社会関係が絡み合う複雑な塊である。この社会学Ⅱでは、社会学Ⅰで学んだような個々の社会関係が、相互にどう影響しあって全体社会を構成しているかについて講義する。家族、職場、学校や地域と関わりながら生きる現代人が、そのそれぞれの要求に応えるためにいかに奮闘しているのか、そうした要求に応えるうえでどのような困難があるのかを、具体的な事例を見ながら考える。また、それらの困難が現在、社会的にどう解決されようとしているかについても触れ、現代の日本社会とその中に生きる私たち一人ひとりの可能性について考える。なお、この授業は社会学の応用編と位置付けられるが、社会学Ⅰを受講していなくても十分理解できる内容である。

授業計画

第 1 回	全体社会を見る切り口としての労働
第 2 回	日本的組織の特徴と近年の変化
第 3 回	男性の労働とその問題点——働き過ぎ
第 4 回	女性の労働とその問題点——家庭内労働と雇用労働の両立困難
第 5 回	女性の就労支援策とその国際比較
第 6 回	非正規労働とその問題点——不安定就労
第 7 回	働きやすい社会へ向けての取り組み
第 8 回	「私らしさ」とは何か——役割演技と自己形成のしくみ
第 9 回	「男性・女性としての私」の形成
第 10 回	多元的価値を育む社会へ
第 11 回	ラベリングとネガティブな役割の引き受け
第 12 回	「障害者としての私」の形成
第 13 回	バリアフリー社会への変容
第 14 回	全体社会の構造を展望する——格差社会としての現代日本
第 15 回	全体のまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

現代日本社会の諸現象や諸問題について、基本的な知識を持ち、それについて自分なりに整理し、意見を述べられるだけの考察力を身につけること。

履修上の注意

この授業はテキストを用いないので、毎回の授業をきちんと聞くことが不可欠である。積極的に出席し、学んだことをもとに社会現象について考えていこうとする、意欲的な態度での受講を期待する。

予習・復習

紹介された参考文献などを利用した自主的な学習のほかに、授業で扱ったテーマについての社会観察や考察の課題を出す。その結果は、授業内の小レポート等で報告してもらうことがある。

評価方法

主に学期末試験によって評価する（80%）。数回の授業内小レポートや課題レポートも考慮する（20%）。

テキスト

とくに定めない。授業では主にプリント資料を使用する。